

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	腎疾患重症化予防実践事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ここ数年、新規透析導入患者数は年間約1万人ずつ増え、平成21年末現在の透析患者数は約29万人となっている。透析が必要となった患者は、定期的に透析を実施しなければ生命に関わる。定期的な透析は患者に多くの負担を強いるため、新規透析導入患者の増加を抑制する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦略研究により策定された透析導入患者を抑制するための栄養指導プログラムをかかりつけ医のもとで実践するため、管理栄養士を派遣し患者に対して個別栄養指導等を行い、透析導入患者の増加を抑制する。 (委託先:公募)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算		31	28	28	
		補正予算					
		繰越し等					
	計			31	28	28	
	執行額			19			
執行率(%)			61				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	患者に対して個別栄養指導等を行い、透析導入患者の増加を抑制する。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	個別指導件数		活動実績 (当初見込み)	-	-	217	-
				-	(-)	(450)	(450)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	補助金	28	28				
	計	28	28				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	慢性腎臓病が重症化し、透析に至る患者は年約1万人ずつ増加しており、QOLの低下を招くことから、優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	年々増加する透析患者を抑制するため、国が主体となって実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	-	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先である法人は、慢性腎臓病に関する知識を有しており、支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は事業目的に即している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	公募先の選定に時間を要し、事業実施期間が短期間となってしまうため。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域特性の実情にあわせた実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	平成24年度から事業を開始したところであるが、公募先の選定に時間を要し、事業実施期間が短期間となったことから、当初の見込みを大幅に下回った。今後は、十分な事業実施期間を確保し、派遣実績数、個別指導件数の更なる向上を図り、透析導入患者の増加を抑制する取り組みを推進する。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	腎疾患患者に対し個別栄養指導を行い、透析導入患者の抑制を図る事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新24-0011

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
19百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等



【補助】

- A. 一般社団法人 日本腎臓学会
8百万円
(中部・近畿地方)
- A. 一般社団法人 日本腎臓学会
7百万円
(中国・四国・九州地方(沖縄県を含む))
- A. 認定特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構
4百万円
(北海道・東北・関東地方)

- ①医療機関との連携
- ②管理栄養士等に対する指導
- ③患者に対する個別指導

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.一般社団法人 日本腎臓学会			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
諸謝金	管理栄養士講習会 企画委員会 謝金	1.00			
旅費	栄養士講習会旅費 企画委員会旅費	1.90			
消耗品費	血圧計等	7.90			
備品費	データ管理用PC一式	1.70			
通信運搬費	CKD管理ノート送付料	0.03			
借料損料	会場借料等	0.70			
賃金	データ入力作業員	0.60			
印刷製本費	CKD管理ノート印刷	1.40			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本腎臓学会	腎疾患重症化予防実践事業	8		
2	一般社団法人 日本腎臓学会	腎疾患重症化予防実践事業	7		
3	認定特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構	腎疾患重症化予防実践事業	4		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					